

# 学校紹介

本校は、教育目標「豊かな心と学ぶ意欲をもち、たくましく生きる子ども」とし、知・徳・体のバランスのとれた人間を育てることをめざしている。そのための取り組みを日々の学習に取り込み、よりよい学校生活となるよう家庭・地域社会と協力し、共に実践している。

## ○体育科を窓口にして一人一人を大切に作る授業

平成3年度から体育学習研究校に指定され、今年度で、21年目となる。この20年間に多くの授業提案を行い、体育学習の研究を深めてきている。

体育学習では、《運動の楽しさ》を基軸にした授業づくりを行い、「どの子ども自発的に・夢中になって・仲間とともに・工夫し合って運動を楽しむ姿」をめざしている。基本となる学習過程も『今もっている力で楽しむ→工夫した力で楽しむ』、また、運動の出会い方についても『運動に子どもを合わせるのではなく、子どもに運動を合わせる』というように、学習者の立場に立った単元計画を考えている。このような学習を積み上げることによって、本校の子ども達は体育好きで、仲間とともにのびのびと活動できるようになってきている。

今年度は、「子どもからみた運動の特性を生かした単元学習のあり方」を研究テーマにし、どの子ども興味・関心をもって運動に取り組めるような仕掛け、つまり、学習内容を明確にし、どの子にも達成感や有能感、連帯感がもてるような授業づくりを行っている。

## ○就学前教育（幼・保教育）と小学校の連携・交流

平成15・16年度文部科学省指定「就学前教育と小学校の連携に関する総合的調査研究」の研究発表会を行い、園児と児童の交流活動のよさに触れることができ、今年度もその取り組みを続けている。

6年生と4歳児との交流で、6年生は4歳児のかわいらしい姿を見て、自分の心を穏やかにし、笑顔で4歳児に関わっていた。「お姉ちゃん、お兄ちゃん、ありがとう。また来てね。」の声に、手を振り笑顔で応えていた。6年生が、「自分にもあんな小さな頃があったんだなあ。何か小さな頃にタイムスリップしたみたい。楽しかったなあ。」とつぶやいていた。4歳児との交流を通して、自分の成長を実感し、純粋な心を取り戻していたように思われる。

また、子ども達の「かかわり合う力」と「学び合う力」が、徐々にではあるが高められているようにも思われる。

幼稚園の保護者の方からも、交流活動のよさについての話を聞くことができ、学校への大きな信頼を得ている。

## ○読書活動の充実

本校では読書活動の教育的効果が大きいと考え、平成12年度より図書室のドアや窓を取り払い、オープン化し、いつでも読書できる環境を整える一方、保護者や高校生ボランティアによる読み聞かせ、毎朝十分間の読書タイムを実施し、子ども達の読書への興味を高めている。